

鏡川流域パートナーシップだより No.91 R5.10.11



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

みんなでお店を作ろう！「土佐のきごころ」でDIYイベントを開催しました！

10月9日(月・祝)に、観光体験カフェ「土佐のきごころ」で、店内の壁にペンキを塗るイベントが開催されました！このお店は、令和4年度鏡川流域関係人口講座をきっかけとして、小栗彩加さん(鏡川流域内関係人口講座2期生・仁淀ブルー合同会社)と村田弘毅さん(仁淀ブルー合同会社)を中心に運営しており、まちのコイン「ぼっちり」にスポット登録しています。オープンは11月を予定していますが、オープン前からまちのコイン「ぼっちり」を活用しながらイベントや企画を考え、多くの人との交流を生み出しています。



壁のペンキ塗りを「ぼっちり」で体験チケットとして発行すると、ユーザーから「参加します！」というコメントが次々と届きました。また、お店に置いてある「ぼっちり」の三角ポップのQRコードを読み取ると、50ぼっちりを受け取ることができます。こうしたお店との関わりやつながりもアプリ内で記録され、鏡川流域関係人口のつながりが可視化されていきます。

 土佐のきごころ 体験観光カフェにチェックインしました	 土佐のきごころ 体験観光カフェにチェックインしました
 土佐のきごころ 体験観光カフェで【お手伝い募集】オープン前のお店の壁塗りイベント！を体験しました	 土佐のきごころ 体験観光カフェにチェックインしました
 土佐のきごころ 体験観光カフェで「観光体験カフェ 土佐のきごころ」のSNSフォローで100ぼっちりを体験しました	 土佐のきごころ 体験観光カフェで【お手伝い募集】オープン前のお店の壁塗りイベント！を体験しました

参加者は、鏡川流域内関係人口講座2期生や、同講座3期生の高知大学生、さらに、「ぼっちり」の体験チケットを見て興味を持ち、お店を訪れてくれたご家族など。大人も子どもも一緒になって、お店作りに楽しく参加できる素敵なイベントでした。



今回、「オープン前の準備をお手伝いしていただく」というイベントを企画して、来てくれる方がいるのか、楽しんでもらえるのか不安でしたが、想像以上に来てくださる方がいてとても嬉しく思いました。その分、この「土佐のきごころ」が果たす役割に期待して下さっていると感じて、身が引き締まる思いです。あと少し、オープンに辿り着けるように頑張りますので、みなさんぜひ遊びに来てください！！

今回のイベントを企画した小栗さんからコメントをいただきました！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android